

こんにちは!

No.183
令和6年2月1日

しばた議会です



イエイ!!

特集

★新図書館建設に向けて(ワールドカフェ開催)

★一般・団体・柴田高校との懇談会開催



「議会ネット中継」は
こちらから

調和の条例制定

屋根・屋上
などは除外

議案第 33 号

柴田町自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の制定

太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー発電設備の設置に伴う安全面や防災面、景観や環境への影響などが懸念されています。このことから、地域住民の生活環境と発電事業との調和を図るため、設置に関する事業者の手続きなどを定めた条例が、令和 6 年 4 月 1 日から施行されます。

■町内で 10KW 以上の再生可能エネルギー発電設備を設置する場合、届け出が必要です。

詳しくは、柴田町のホームページをご覧ください。



(1) 対象となる再生可能エネルギー源と発電出力規模

- 太陽光発電、風力、水力、地熱、バイオマスなどで、発電出力が 10KW 以上の設備（ただし、太陽光を再生可能エネルギー源とする事業で、建築物の屋根、屋上又は壁面で行う事業や、抑制区域以外の区域において、個人が自己の居住する土地及び隣接する土地で行う発電出力 50KW 未満の事業は除く。）

(2) 発電設備の抑制区域を指定

- 災害の防止、自然環境、生活環境、歴史的及び文化的景観保全のため、特に配慮が必要と認められる区域を再生可能エネルギー発電設備の抑制区域として指定し、事業者に対し事業区域に含めないよう求めます。

(3) 説明会の開催

- 地域住民の理解が得られるよう意見を聴き、適切なコミュニケーションを図り、事業実施に向けて誠実に対応していただくため、説明会を義務付けています。

(4) 適切な維持管理

- 設備及び事業区域を安全かつ良好な状態に保つよう維持管理をし、災害などで設備が破損し、第三者に被害をあたえる恐れがあるときは、状況の確認を行い必要な措置を講じ、速やかに町長に報告しなければなりません。

(5) 助言・指導・勧告・公表

- 町長は、必要があると認めるときは、事業者に対し報告及び資料の提出を求め、必要な措置を講ずるよう助言又は指導を行うことができます。また、正当な理由がなく助言・指導に従わなかった場合、事業者に対して、期限を定めて
- 必要な措置を講ずるよう勧告できます。
正当な理由がなく勧告に従わないときは、弁明の機会を与えた上で、事業者の氏名などを公表することができます。

12月会議が12月4日から7日の日程で開催されました。今回は、人事案件1件、新規条例1件、条例廃止及び改正のほか、一般会計補正予算などが審議され、いずれも全会一致で同意、可決しました。一般質問は13人が行いました。



12
月
会
議

再生可能
エネルギー

発電施設と環境

議案第35号

太陽の村条例の一部改正

宿泊施設の利用料の上限度及び下限度を引き上げます。また、利用が無料だった「木育遊びの部屋」について、利用者に負担を求めるようにし、令和6年4月1日から施行になります。

木育遊びの部屋の 今後は

質疑 利用を有料にするこ
とで、今後のサービスは。

答弁 指定管理者と協議し
ていく。その利用料で、お
もちゃの修理や補充をし、
利用者に飽きられない魅力
ある施設づくりに努める。

キッズバイクパークの 利用単位変更は

質疑 利用料に変更はない
が、改正前は1時間、改正
後は1人1時間へと改正
されている理由は。

答弁 現在、1回の利用が
30分から1時間ほどで、別
の遊具に移動する。今後、
また戻って利用できるよう
、利用プランなどを設定
するように指定管理者と
協議する。



議案第38号（一般会計補正予算）

柴田町新図書館建設設計業務委託料 （※債務負担行為）を可決

今年度から令和7年度までとし、限度額を1億2千956万円としています。今年度内に設計業者を選定するとともに、令和7年度までに実施設計業務を完成させるスケジュールとなります。

期間の設定理由は

質疑 令和7年度まで期間
として設定した理由は。

答弁 交付金を受けて実施
するため、令和9年度に竣
工したい。また、建設期間
に余裕を持って施工する
ためには、今年度中に公募
型プロポーザルを開催し
契約を締結する必要があ
る。

将来負担が増えるのか

質疑 図書館建設に係る費
用が13億5千万円とあり、
その範囲で完結しないと
将来負担増になるのでは。

答弁 規模を縮小せざるを得
ないか、配分額の協議変
更もあると思う。懸念さ
れる将来負担増は、有利な
地方債や基金の活用で抑
制していく。

人事案件

○監査委員の選任に同意



関場 孝夫氏
（新任・船岡字清住町）



12月で退任された
大宮 正博氏
お疲れさまでした。

- ※1 債務負担行為＝予算は単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せず、後の年度においても「負担＝支出」をしなければならない場合、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。
- ※2 公募型プロポーザル＝公募により提案書を募集し、最も優れた提案書を選抜した後、その提案者との間で契約を締結する方式のことです。

議案第45号（一般会計補正予算）

高齢者世帯・住民税非課税世帯等に臨時給付金

1月下旬
以降順次
給付開始

- 高齢者世帯への生活支援臨時給付金 …… 3,450万円
- 在宅介護サービス等利用者への給付金 …… 2,500万円
- 社会生活サポート事業者支援給付金 …… 1,404万円
- 住民税非課税世帯等に対する追加臨時特別給付金 …… 2億4,500万円

10月
会議

(仮称)柴田町総合体育館

竣工に向けて附帯工事も着々と進行！！

10月23日に10月会議が開催されました。

議案2件は審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

議案第22号

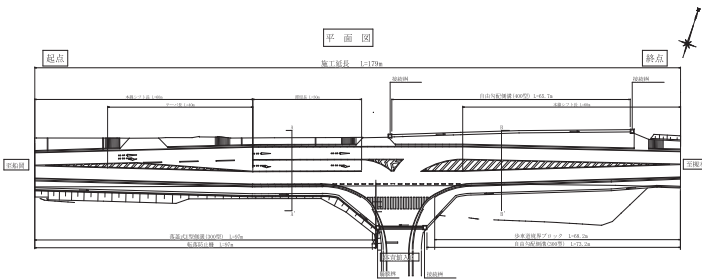
新体育館出入口付近の
県道改良工事決まる

10月13日に制限付き一般競争入札を行い、10月16日に8千349万円で仮契約をしていた工事請負契約が適正に行われていると認め、正式に契約を締結しました。

議案第23号

令和5年度柴田町一般会計
補正予算

障害者就労支援事業所施設整備事業補助をはじめ、道路への防護柵設置工事や雨水対策事業など緊急を要する費用、6千688万円を増額補正しました。



10月会議一般会計補正予算主な事業

障害者総合支援事業	4,600万円
一般町道維持管理事業 (本船迫地区ほか)	634万円
雨水対策事業 (船岡大住町地区)	814万円
狭あい道路整備促進事業 (町道槻木145号線)	428万円

11月
会議

11月28日開催

全て原案の
とおり可決

議案第24号・25号

町長等、職員及び任期付職員の月例給及び期末勤勉手当の引き上げ

令和5年8月に出示された国の人事院勧告を踏まえ、引き上げるものです。

議発第1号

議会議員の議員報酬及び費用弁償等の額を引き上げ

議員についても職員などと同様に引き上げることを議員発議により提案しました。

本会議出欠状況・議案などの審議結果

● 審議結果

区分	主な内容	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	石森 靖明	伊東 潤	吉田 清	小田部 峰之	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	佐久間 光洋	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	大坂 三男	佐々木 裕子	広沢 真	白内 恵美子	平間 奈緒美	高橋 たい子
10月会議	議案第22号・23号	10.23	17	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月会議	議案第24号～28号	11.28	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第1号	11.28	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月会議	議案第29号	12.4	18	17	0	選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第30号～45号	12.7	18	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

本会議の出欠状況はこちらで確認できます→



○ 議案等の概要

10月会議			12月会議		
議案第22号	(仮称)柴田町総合体育館取付道路改良工事請負契約について	条例に基づき、請負契約の締結について議会の議決を求めるもの	議案第33号	自然環境等と再生エネルギー発電事業との調和に関する条例	再生可能エネルギー発電事業者と地域住民の生活環境の調和を図るため、事業を進めるために必要な手続などを定めるもの
議案第23号	令和5年度一般会計補正予算	障害者就労支援事業所施設整備事業補助などの事業費予算を補正するもの	議案第34号	柴田町地域福祉センター条例の一部改正	町内のデイサービスは民間事業者で十分提供できていることから、休止しているデイサービスセンターを廃止するもの
11月会議			議案第35号	柴田町太陽の村条例の一部改正	指定管理者の創意工夫を生かせるよう、利用料金の設定幅を広げるなどの改正を行うもの
議案第24号	柴田町職員の給与に関する条例等の一部改正	令和5年の人事院勧告を踏まえ、職員などの給料月額及び期末・勤勉手当の支給額を引き上げるもの	議案第36号	柴田町観光施設条例の一部改正	エネルギーの価格高騰影響や時季に合わせた利用料金の設定を可能にする改正を行うもの
議案第25号	柴田町長等の給与及び旅費支給に関する条例の一部改正	人事院勧告及び柴田町特別職給料等審議会の意見を踏まえ、町長、副町長及び教育長の給料月額を引き上げるもの	議案第37号	柴田町駐車場条例及び自転車駐車場条例の一部改正	最近の利用状況に応じ、管理する時間を短縮するもの
議案第26号	令和5年度一般会計補正予算		議案第38号	令和5年度一般会計補正予算	子ども医療費助成など子育てに関する事業費の増額や完了した事業費を減額するなどの補正を行うもの
議案第27号	令和5年度水道事業会計補正予算	議員や職員などに対する人件費の引き上げに対応するために予算を補正するもの	議案第39号	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算	保険給付費を増額するなどの補正を行うもの
議案第28号	令和5年度下水道事業会計補正予算		議案第40号	令和5年度介護保険特別会計補正予算	地域支援事業費などを増額するなど補正を行うもの
議案第1号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	令和5年の人事院勧告を踏まえ、議長、副議長及び議員の報酬と期末手当の支給額を引き上げるもの	議案第41号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算	後期高齢者広域連合への納付金を増額するなどの補正を行うもの
12月会議			議案第42号	令和5年度水道事業会計補正予算	確定した事業費の減額や、水道メーターを購入するための費用などの補正を行うもの
議案第29号	監査委員の任命について	任期満了となる監査委員の後任を選ぶため、地方自治法の規定により議会の同意を求めるもの	議案第43号	令和5年度下水道事業会計補正予算	企業債の減額や債務負担行為の追加などの補正を行うもの
議案第30号	町道路線の変更について	槻木地区にある町道について、起点を変更するもの	議案第44号	柴田町国民健康保険条例の一部改正	健康保険法等の改正に伴い、出産を控えた被保険者に係る国民健康保険税を減免するための改正を行うもの
議案第31号	町道路線の認定について	前の議案で町道の起点を変更することにより、町道区域から外れてしまうところを新たに町道に認定するもの	議案第45号	令和5年度一般会計補正予算	住民税非課税世帯や高齢者に対する支援を行うための事業費予算を補正するもの
議案第32号	町立幼稚園の設置に関する条例及び町立幼稚園授業料徴収条例の廃止等	令和6年3月末で町立第一幼稚園が閉園することから関係する条例の廃止・改正を行うもの			

※紙面の都合により、議案名を一部省略して記載しています。

一般質問

13人の議員が 町政を問う！

議員18人のうち13人が質問を通して、町に対し提案などを行いました

大坂 三男 議員 新図書館建設計画の詳細を問う **P6**
 ●子育て支援事業拡大の財源確保を

小田部峰之 議員 交通支援の財源にふるさと納税を **P9**

平間奈緒美 議員 HPVワクチンの積極的勧奨は **P7**
 ●柴田町民歌と柴田町民音頭の伝承

白内恵美子 議員 多様な性の在り方を尊重する町へ **P9**
 ●障がい者へ合理的配慮の提供を
 ●内水浸水想定区域図の住民説明を

吉田 和夫 議員 計画的にAEDの野外設置を **P7**
 ●本町での熊による被害対策は

桜場 政行 議員 小中学校でのAEDの貸出しを **P9**

石森 靖明 議員 子ども家庭センターの設置は **P7**
 ●部活地域移行は広域連携も視野に
 ●現地決済型ふるさと納税の導入を

森 裕樹 議員 学習施設にWi-Fi環境整備を **P10**

吉田 清 議員 消防団の強化を問う **P8**
 ●地震対策総合防災訓練を問う

伊東 潤 議員 緊急情報連絡体制を問う **P10**

加藤 滋 議員 空き家バンク事業の計画は **P8**
 ●路面に亀裂が入った県道の修繕を

佐久間光洋 議員 船岡城址公園に新スロープカーを **P10**
 ●拡声器の効果的運用について
 ●給食センター用地の交渉状況は

秋本 好則 議員 総合体育館建設は地元経済に^{プラス}か **P8**
 ●東船岡駅を起点のまちづくりを

Q 新図書館建設計画の詳細を問う

大坂 三男 議員



A 新情報に触れやすい図書館にする



現図書館と新図書館建設用地

この度、新図書館建設検討委員会による調査検討結果がましまり、基本構想試案が示された。

問 試案では蔵書数8万冊、延床面積1千500平方メートルとなっているが規模的に十分か。

答 建設事業費は13億5千万円なので面積は試案程度になる。蔵書数は町民1人当りの冊数が県平均以上。新鮮な情報などに常に触れられる図書館を目指す。

問 静かな読書ゾーンと賑やかな交流ゾーンを明確に分離すべきとの要望がある。図書館を2階建てにして対応できないか。

答 2階建ては設備費や維持管理費用が増加するので、平屋建てでのゾーニングを検討する。

問 新図書館完成後に現在の図書館を複合施設とし、屋内遊び場を兼ねた子ども用の図書館施設として活用してはどうか。

答 遊具整備や児童用図書室の設置を検討し交流拠点にしたい。

Q HPVワクチンの積極的勧奨

平間奈緒美
議員



A 個別に通知している



- 問** HPVワクチンの積極的勧奨再開に伴う対応と現状は。
- 答** 令和4年4月に定期接種対象者の中学1年生から高校1年生相当の女子に対し、接種勧奨を行った。令和5年度も、説明書など個別に通知している。
- 問** 子宮頸がんについて、町ホームページ上でわかりやすい説明が必要では。
- 答** 他自治体を参考にするなど、工夫をしながら、視覚的にも皆さんに伝わるようなホームページにしていきたい。
- 問** 子宮頸がん検診の受診率向上のため、自宅で検査できる簡易キットを無料配付しては。
- 答** 国の動向や他自治体の取組など情報収集し、今後、調査研究していく。
- 問** 検診期間の延長は可能か。
- 答** 未検者の検診には受入先の医療機関などとの調整が必要となる。今後、調査研究していく。

吉田 和夫
議員



Q 計画的にAEDの野外設置を

A 現在の運用で十分対応できる



役場庁舎内にもあります

- 問** 野外へのAED設置について、どんなことを検討したか。
- 答** 学校体育施設開放時には、校庭と体育館を同時に利用している団体が多い。また、開校時間や学校施設開放利用時間であれば、学校周辺でAEDが必要な事態が発生しても、現在の運用で十分対応できる。
- 問** 公共施設のAEDは、夜間でも使用可能か。
- 答** 夜間でも施設管理の守衛や施設の代行員がいれば利用は可能。
- 問** 女性に配慮するため、三角巾などはAEDと一緒に備え付けられないか。
- 答** 三角巾を備えたAEDの必要性は、それほど重要度は高くはないと考えている。
- 問** 貸出用AEDはどのように利用されているか。
- 答** スポーツ団体などから希望があれば貸出しを行っている。

Q こども家庭センターの設置は

石森 靖明
議員



A 令和7年4月から設置したい



幼児期からの運動習慣を

- 改正児童福祉法では、令和6年4月から、こども家庭センターの設置が努力義務となる。
- 問** 本町における検討状況は。
- 答** 人員配置や設置要綱の作成、相談室の確保などを踏まえ、令和7年4月から設置したい。
- 問** 町長は令和5年度施政方針で、子育て支援を中心課題に据えるとしていた。令和6年4月から開設の自治体もある中で、なぜ開設が遅れるのか。
- 答** 関係する課による一体的な支援につながる体制の整備、職務分担や人員配置など、クリアする問題があったため。
- 問** こども家庭センター開設にあたっては、国が示している運営形態にとまらず、仙台大学と連携し、幼児期からの運動習慣化に向けた取り組みなどを加えることも考えられるが。
- 答** 運動習慣化に向けた取り組みは、別の形で進めていきたい。



清 議員

吉田



Q 消防団の強化を問う

A 日々の訓練で練度を上げていく



あなたの力が必要です

問 令和4年に条例定数を350人から300人に改正しても定数に達していない。平成21年から今年度までの15年間、毎年団員数が減っている状況が続いている。他の町では役場職員が消防団に入って活動している。町職員は消防団員になれないのか。

答 地方公務員法によると、任命権者である町長が許可をすれば職員も消防団員になれる。

問 町長の考えは。

答 職員は役場の仕事があるので、町長から入団を勧めるのは難しいが、入団を希望するのであれば許可したい。

問 消防団に入団したくない理由は様々あると思う。役場の職員が入団しても団員が足りないと言えば、町民から募集する際の説得材料になるのでは。

答 志願すれば入団してもらおう。



加藤



滋 議員

Q 空き家バンク事業の計画は

A 令和6年度からの実施に向け準備



移住 PR サイトはここから



問 移住の定義について、町の見解は。

答 明確な定義はないが、移住者とは、町に継続的に居住する意思を持って転入したものと捉えている。

問 再調査した空き家データの活用方法は。

答 このデータを基に、町内に住む空き家所有者を把握し、空き家バンクへの登録依頼を行う。

問 空き家バンク事業の計画状況は。

答 令和6年度からの実施に向け準備を進めている。不動産物件の仲介を行う事業者の協力が必要なことから、宮城県宅地建物取引協会などと空き家バンク事業に関する協定書を取り交わす予定。また、4月の着任を目指す。また、空き家バンクの構築運用や移住希望者の受入環境整備などのため、地域おこし協力隊を1人程度募集する。

Q 総合体育館建設は地元経済に^{プラス}か

A 地元業者を積極的に活用する約束



秋本 好則 議員

秋本



問 総合体育館業者からの提案書に町内事業者の取り込みは書かれていたのか。

答 地域経済に貢献するよう町内事業者の関心表明書があった。

問 地元経済の好循環にこの工事は機能していると思うか。

答 表明書に26社あり、土木関係が11社あった。町はモニターング委員会を開催して確認し、地元業者を積極的に活用する約束をとっている。

問 管理についてはどうか。

答 提案に仙台大学卒業生や町内事業者の活用も入っている。

問 使用料金はどのようになるのか。

答 町の主催事業は無料だが、一般の使用は負担が生じる。

問 民間企業の所有なので、無料の使用より有料の使用を多くするのは、担保はあるのか。

答 町と運営事業者で運営全般を協議する。今の段階では年間利用時間などは決まっていない。



12月の供用開始に向けて

Q 交通支援の財源にふるさと納税を

小田部峰之
議員



A 地域鉄道支援事業を盛り込む



存続維持に活用
(写真は梁川車両基地)

全国のローカル鉄道も存続に苦慮している。本町の財政状況の中で、阿武隈急行線支援には限度があることは理解できる。解決策を模索できればお互いによりよい関係が築かれ、それが地域振興につながると思う。

問 財源確保策のひとつに、ふるさと納税寄付金の使い道として「地域公共交通支援」という項目を設けてはどうか。

答 本町においても、町の地域公共交通である「阿武隈急行線」の維持のため、ふるさと納税寄付金の使い道として、まずは1年間、現在の9事業に加え、新たに「地域鉄道支援事業（阿武隈急行線）」を盛り込む。

問 さらに応援する意味で、返礼品に阿武隈急行線のグッズを取り扱うことは考えられるか。

答 沿線自治体共通の返礼品としての取扱いは可能。推進協議会などでの検討は可能と思う。

白内恵美子
議員



Q 多様な性の在り方を尊重する町へ

A 住民の理解が進むよう努めていく

11月に仙台市で、LGBTQなど多様な性の在り方が尊重される社会を目指す「みやぎにじいろパレード」が開催された。

問 町ではLGBTQ理解のための職員研修を行っているか。

答 行っていない。今後、当事者に配慮した対応ができるよう、研修内容を検討していく。

問 相談や支援をしている団体の情報を集め、住民へ提供を。

答 「しばたの男女共同参画通信」に、LGBTQなどの情報や相談先を掲載した。今後も住民の理解が進むよう努めていく。

問 学校での対応は。

答 文部科学省通知を参考に、児童生徒の多様性を尊重し個別の事情に応じて対応している。

問 LGBTQ理解のため、イベントや講演会などの開催を。

答 今後、支援団体などが本町でイベントや講演会などの開催の場合、町として支援していく。



文部科学省が教職員向けに
2016年に作成

Q 小中学校でのAEDの貸出しを

桜場 政行
議員



A 緊急時には貸出しする



ここにあります
(船岡中学校体育館入口)

問 小中学校のAEDは、学校周辺での緊急時の貸出しはできないのか。

答 学校のAEDは、校舎内や体育館に設置されている。開校時間中や学校体育施設開放などで体育館が使用されている時間帯であれば、学校周辺でAEDが必要となる緊急事態が発生した場合に、使用しても一向に構わない。

問 公共施設などのAEDは、緊急時の貸出しはできるのか。

答 町で設置しているAEDは、もともと貸出しは行っていないが、公共施設付近でAEDを必要とする緊急事態が起きた際は使用しても構わない。

問 船岡体育館などで事務所に保管されているAEDを人目につきやすい場所に移動、設置すべきでは。

答 事務室に保管しているAEDすべてを移動、設置する。



森 裕樹 議員



Q 学習施設に Wi-Fi 環境整備を

A 今後、調査検討していく



ポケット Wi-Fi もいち手段

デジタル社会に遅れをとることなく、生涯学習施設が、様々な世代が集まり交流の場としてあり続けるためにも、しっかりと検討しては。

問 生涯学習施設は、様々な世代が集まる交流の場としてあり続けなければならない。誰でも安心して利用できる Wi-Fi の整備が必須であると考えているが。

答 先進自治体の事業の情報を収集して、本町では何ができるのか調査、検討していく。

問 利用者の活用方法として、SNS の勉強会、ウェブ会議、子どもたちの長期休暇中のタブレットドリルの課題など、人が集まる環境というのが新たにできると思うが。

答 生涯学習施設は、地域の皆さんが集まれる場所になるので非常にいいと思う。



伊東 潤 議員



Q 緊急情報連絡体制を問う

A 最新のデジタル技術を活用する



緊急時に情報を届けます

昨年7月、漏水事故の復旧工事が行われた。工事に伴い町内各所に断水のお知らせがあったが一部の住民からは、「分からなかった」、「聞こえなかった」などの苦情を耳にした。有事の際には、全町民に短時間に連絡する必要があると考える。

問 工事当日の町民への連絡は。

答 8台の広報車、LINE、ホームページ、屋外拡声器、防災ラジオ、テレビ回覧板、各行政区長を通して行った。

問 断水のお知らせに対し、町民の反応は。

答 広報車のアナウンス内容が聞き取りにくいとの問い合わせがあった。しかし、工事の内容などを説明し、理解いただいた。

問 今後、屋外拡声器の増設は。

答 最新のデジタル技術を活用していくため、考えていない。



佐久間光洋 議員



Q 船岡城址公園に新スロープカーを

A 既存の設備の改修を優先したい



根強い人気のスロープカー

問 城址公園下の駐車場からさくらの里までのルートで地形的に設置は可能と思われるが。

答 地形的には問題はないと考える。

問 現在のスロープカーの経営状況は。

答 台風や地震、コロナ禍の影響で一時的に落ち込んだものの、令和4年度の収益は774万円で徐々に回復している。

問 今の利用者の規模での収入と、新設のための費用で試算すると、40年間の運用でほぼ同額となり、成り立つのではと考える。町の財政に負担をかけないで賑わいの創出になり、新しい経済効果も期待できると思うが新設へは踏み切れるか。

答 既存のスロープカーは老朽化が進み、更新が必要となっているので、その対策を優先したい。上の駐車場まではシャトルバスの運行で対応したい。



常任委員会レポート

各委員会で、町の現状について現地視察及び担当課から調査した内容を報告いたします。

総務

実施日

10月4日・30日

- 調査1 しばたの未来株式会社の設立背景や事業成果など
- 調査2 町内の防犯カメラ等の設置状況
- 調査3 人材マネジメント部会派遣の成果
- 調査4 自主防災組織における避難行動支援者名簿の取り扱い



調査結果

- 避難行動支援者名簿の取り扱いについて、自主防災組織同士の認識の共有状況を注視していく。
- 人材マネジメント部会への派遣について、取り組みの効果を注視していく。

産業建設

実施日 9月21日・22日

- 調査1 町シルバー人材センターの運営状況
- 調査2 農業用ため池の管理・保全状況
- 調査3 担い手農家の現状と課題
- 調査4 太陽の村の指定管理に係る成果と今後 など



調査結果

- 太陽の村の指定管理者が自立した多様な運営ができるよう、収益性を高めるなどの環境を整えること。
- 町シルバー人材センターの事務所が狭く、移転を検討する場合は、町が早めのサポートを。

議会発

出前講座開催

槻木中3年生

11月16日、柴田町議会では槻木中学校で出前講座を行いました。講師として、高橋たい子議長、平間奈緒美副議長が出席しました。



こんな意見が出ました
 ごみ問題 ipad 街灯 イベント
 交通安全対策 道路整備 施設整備 などなど



当日は、自己紹介の後、議員になったきっかけや、議員の仕事について説明しました。生徒からは多くの質問を受けました。その後、柴田町への提案・要望についてワールドカフェを行いました。生徒たちからは町に対して多くの要望や意見が出ました。意見をまとめて町執行部につなげていきます。

柴田町について考えました

徹底議論の5時間

現在、町が策定中の柴田町新図書館基本構想についての議員問討議を、12月7日、8日の2日間にわたって行いました。

町では令和9年度の完成を目指し、船岡城址公園周辺の賑わいづくりの核となる新図書館建設に向けて動き始めています。

この動きを受け議会では、*ワールドカフェによる議員

問討議をとおして、本町の図書館に求める姿について徹底議論を行いました。

なお、新図書館建設にあたっては、13億5千万円の建設費用が想定されています。

※ワールドカフェ：少人数に別れたテーブルで自由な対話を行い、何度かの席替えを通して対話を続けることで、全員の意見や考えを集めることができる対話手法の一つです。

1日目

激論
2.5時間

1日目の討議では、大きく2つのテーマに対する議員それぞれが考えること、感じていることなどについて自由に意見を出しました。

出された意見などは、2日目に議論する要望事項を整理する上で重要な材料となります。

テーマごとに様々な意見が出されましたが、その中の一部をご紹介します。

討議終了後には、1日目に出された意見などを参考に、感じたこと、議会として執行部にどうしても伝えたいことを議員個人ワークとしてまとめました。

テーマ
①

柴田町新図書館の各種説明資料や町民へのアンケート結果などから「感じたこと・気づいたこと」について話し合しましょう！



町民へのアンケート調査報告書

新図書館の理念は本当に実現可能なのか？

町民が望む図書館ではないのでは？

全国に自慢できる図書館であってほしい！

身の丈にあった規模で良いのでは？



郷土資料のコーナーは必要だ

カフェがあればゆっくり過ごせる

図書館を会場にした学校行事の開催を！

様々な講座や研修会の開催を！

ランニングコストを抑えることができる工夫を！

将来にわたる賑わいの場所にしてほしい

テーマ
②

新図書館に議会が求める「機能・設備」・「ソフト事業」・「将来像・建設計画・財政負担」について話し合しましょう！

新図書館

基本構想への要望事項を討議

議員 18 人で

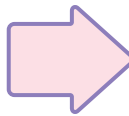
2 日 目

激論
2.5 時間

まず、議員を3つのグループに分け、1日目にまとめた個人ワークの内容を共有します。その後、グループ内で一致した意見を3項目に絞り、要望事項の候補としてまとめます。さらに、3つのグループから出された要望事項の案を共有し、町執行部への要望事項として議員全員が一致できるかどうか、討議を重ねていきます。議員同士の熱い議論の結果、要望事項として4点をまとめました。なお、要望事項と討議の中で出た意見をまとめ、議長から町長に提出しました。



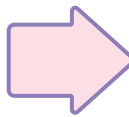
グループごとに個人ワークの内容を共有。グループ内で一致できる意見を確認します。



グループ内で一致した意見を全体で共有します。その後、同じような意見を集約していきます。



町執行部への要望事項は、全会一致が条件です。要望の候補を一つ一つ挙手で確認します。



議会からの要望書は議長から町長へ手渡されました。しっかり反映されることを期待しています。

柴田町新図書館基本構想に対する議会からの要望

- 1 ユニバーサルデザインに配慮した施設
- 2 しばたの郷土館(現・図書館)との機能連携を意識した設計
- 3 町の財産である貴重な郷土資料があることを発信できるブースの設置
- 4 将来の財政負担への配慮

令和5年議会懇談会 報 告

一般懇談会、団体懇談会、高校生との懇談会 みなさんの声を議会活動に反映させます!!

一般懇談会

みなさんからの意見について、議員間討議を行いました。12月8日開催

今回の流れ

1 参加者から出た意見を
●優先事項 ●情報提供
●意見 に振り分けました。

2 優先事項に振り分けた
事項について議員間討
議を行いました。

3 議員間討議中



4 まとめ
=委員会でしっかり調査します=
●児童クラブでのタブレットの活用。
●夏休みのプール利用について。
●障害の級によっては駐車場許可証が出ないため、障害者駐車場に停められない。
その他のご意見に関しては、担当課に情報提供するなどしっかりとつなげていきます。また、議員活動や議会活動に生かします。

団体懇談会

各常任委員会で、団体懇談会を行いました。



総務常任委員会 12月13日、14日
自主防災組織
3区、5区、17B区



文教厚生常任委員会 11月13日
しばたっ子応援団の
みなさんと



産業建設常任委員会 12月12日
一般社団法人
柴田町観光物産協会

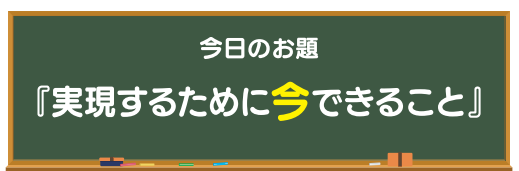
柴田高校生との懇談会 パート2

【10年後も住み続けたいまちを実現するために今できることは】をテーマにワークショップを開催しました。12月22日開催

今、私たちは行動します!!



議会は皆さんの行動を
応援します!!



多くの議会から
熱い視線



視察を受け入れました!



議会改革

主な視察内容

- 議員間討議
- 政策サイクル など



8/2 奈良県五條市議会



10/12 栃木県那珂川町議会



10/17 神奈川県三浦市議会



10/18 埼玉県三芳町議会



10/23 青森県中泊町議会



10/25 新潟県見附市議会



12/19 福島県石川町議会

8月から12月までの期間に14議会の視察を受け入れました。視察内容は、議会改革に伴う議員間討議や政策サイクルについて、広報では議会だよりの編集についてなどです。意見交換もでき、実りの多い視察対応ができました。

議会広報

主な視察内容

- 議会だよりの編集



9/29 栃木県那須町議会



10/31 大分県豊後大野市議会



11/1 福岡県志免町議会



11/7 山形県尾花沢市議会



11/8 山形県川西町議会



11/15 愛知県阿久比町議会

ありがとう
ございました!!



ICT

主な視察内容

- ICT の活用



10/11 岩沼市議会

サークル紹介

町内で活動している
サークルを紹介します

おおとり 鳳流 うがく 羽鶴教室

代表： たかはし のりこ 高橋 紀子

どのような教室ですか？

私は子どもの頃から踊りが好きで、教室に通っていました。昔は民謡が主でしたが、今は時代の流れで演歌舞踊となっています。

柴田町に住んで約40年になりますが、蔵王連峰を背に四季折々の風景と凜とした船岡城址公園の観音様に癒されています。

縁があって2016年に仙台の家元に通い指導免許を取得。“鳳羽鶴”と、芸名をいただきました。

活動内容は？

現在、白幡集会所で町内の踊りの好きな仲間達と、月3回から4回、お稽古をしています。

また、着付けも教えています。



伝統の正統派日本舞踊!!



中央が代表の鳳羽鶴先生

羽鶴教室(6名)

鳳羽鶴 (高橋紀子さん)
佐々木えい子さん 蟻坂トシ子さん
佐藤マサ子さん 白幡 英子さん
高橋たり子さん

今後の目標は？

年々老いてゆく身ですが、体調に気を付けながら、仲間と共に町内のイベントに参加したり、地域の方々との交流も深めて参りたいと思っています。

槻木放課後児童クラブ



楽しかったフロアボール教室

編集を終えて

令和6年能登半島地震で犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、ガソリン代、電気代、食品の値上げが相次ぎ、生活が圧迫された一年でした。新型コロナウイルスも5類に変わりましたが、いまだに感染症の拡大が懸念されています。地震や大雨など地球を取り巻く環境も複雑化し、世界では戦争で苦しむ多くの方々もいます。一日でも早い平和な生活が戻るよう願わずにはいられません。

(吉田 清)

議会広報常任委員会

委員長 加藤 滋
副委員長 平間 幸弘
委員 石森 靖明
委員 伊東 潤
委員 吉田 清
委員 小田部 峰之
委員 平間 奈緒美

3月会議の予定

3月会議は **3月1日(金)** 開会予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。



このしばた議会だより183号は、約16,600部作成しています。1部当たりの経費は約60.72円です。